

67 期の

# フレッシュキッズキャンプ

4月18日(月)、19日(火)の2日間にわたって、本校でフレッシュキッズキャンプが行われました。学年集会、校歌練習から始まりましたが、ここでは探究活動にかかわるものをピックアップし、活動の様子と生徒の感想を紹介します。

## ① 楠木重範先生の講演 「これからの医療のカたちについて考えよう」というテーマでお話しをしていただきました。

講演ではがんの原因やがん患者やその家族についてなど、あまり普段学べないことをお話ししてくださいました。楠木先生は、兵庫県にある、わしおこども病院の小児科医の先生で、「乗り越える力(レジリエンス)」についても触れていただきました。



講演の様子



たくさんの生徒が楠木先生に質問を行いました。

### 生徒の感想

がんという病気に関して常識だと思っていたものが全て覆りました。そして自分の周りでもしそのような病気になってしまった人がいたら今日教えてもらった知識面だけでなくその人の心にも寄り添って行きたいと思います。

私はがんにならないように「生活習慣」に気を付けようという意識があったけれど、遺伝やウイルス、原因不明のがんもあると知り、もしもがんになった時、「どう乗り越えるか」を考える必要があることを学びました。

先生にこの講義をしていただいたおかげで病人に対する気遣いについて知ることができたと思います。僕も一時期入院した時期があったのですが「入院」という言葉だけでなにか重いことのように聞こえがちであることに共感出来ました。

## ② Meraki I オリエンテーション

マジックワード



マジックワードについて



紙飛行機作成中...

### 生徒の感想

Merakiという活動を通して実験の方法、発表の仕方、計画などを立てる力をつけていきたいと思っています。

はじめは科学の未知の研究について調べたりするのかと思っていましたが、仲間と協力しながら自分の知識を深められるとわかってとても楽しそうだと思います。

Meraki で問いを立てる時に、「よく飛ぶ」などのマジックワードを入れてはいけないことや、課題を解決することにおいて言葉の定義づけの大切さが分かりました。

## ③ 探究活動「紙飛行機をよく飛ばすには？」 体育館でそれぞれの定義による【よく飛ぶ】を実験・検証しました



「よく」飛ぶ紙飛行機で実験！

### 生徒の感想

初めは、どうすれば良いかわからなかったけど、実験を繰り返すうちに、改善点が見えてきてより良い紙飛行機を飛ばすことができました。

自分の予想をはるかに超える発想ばかりで驚きました。自分には発想力がないのでこういう探究活動でもっとつけていきたいです。

実験して、考えて、実験して、考えて、、、と繰り返すうちにどんどん遠くまで飛ぶようになりました。今回みたいに、より深く考察する力や実験に求められるチームワークは、普段の生活ではなかなか育たないものなので、いい経験になりました。

## ④ クラス→全体発表



発表の様子

### 生徒の感想

仮説を立てることでその班のフォーカスが定まっていたため、発表が聞きやすかった。

同じ「よく飛ぶ」も「長い距離飛ぶ」や「滞空時間が長い」など定義によって考察が全く違って幅広い発表だった。

記録に普遍性を持たせるために実験をできる限り多く行うことやその度に考察をしてまた仮説を立て繰り返し実験することの大切さを知りました。

実験をどんどん掘り下げていき飛行機の形から重さ、大きさ、さらには投げ方をそれぞれほかの部分が変わらないようにして調べていたことがとてもいいと思いました。また、クラス代表の人たちは速さに着目したり、実験の条件を細かくそろえていたり手順がしっかり踏まれていたのが参考になりました。